



るもい、21世紀へ…

SINCE2001 新春 座談会

21世紀……子供が少なくなり、高齢者が増え、しかも人口が減少する時代がやってきます。インターネットなどにより情報伝達手段が進化することで、社会そのものが変わる可能性も秘めています。そういった中で、経済的基盤の確立が留萌の課題と言えるでしょう。今年の新春座談会は、「異業種」「フェリー」「女性」「文化」などの分野でご活躍されている4人のゲストをお迎えし、21世紀の留萌のビジョンについてうかがいました。



越後谷 厚史さん
(留萌北交通運(株)勤務)

留萌港フェリー研究会
「フェリー就航の実現を目指す活動を行うなかで、留萌そして道北圏の元気を促すことができれば……」



佐藤 太紀さん
(山高建設工業(株)勤務)

萌州地域振興研究会、萌志会
「ホスト(主催者)ークライアント(お客さん)式ではなく、一人ひとりが軸となれるようなまちづくりネットワークを目指します」



越前 初恵さん
(元町郵便局勤務)

女性ネットワーク・るる、女性懇話会ウィッシュ
「元気に活動するためには健康第一。何事にも前向きに、楽しく取り組みたいですね」



松本 衆司さん
(松本工芸勤務)

留萌青年会議所、るもい演劇文化振興会議
「10年先を見据えて、子供たちが育つこの郷土のまちづくりと新世紀の自分づくりを」